

主体的な学びを促進するケースメソッド ーその適用と普及の課題ー

ケースメソッドは、意思決定の場面が記述された教材を分析し、問題を発見しその解決策を模索する実践的マネジメント教育の方法です。本セミナーでは、ケースメソッドの概要をお伝えし、幅広い分野で適用されているケースメソッドの一端をご紹介します。

【講演】「ケースメソッドの可能性と課題」

・國領二郎氏(常任理事、総合政策学部教授、ケースメソッド・ラボ代表)

【パネルディスカッション】「ケースメソッドの多様な適用の実例と可能性」

- ・大出敦氏(法学部教授、教養研究センター副所長)
- ・伴英美子氏(政策・メディア研究科特任講師)
- ・飯盛義徳氏(総合政策学部教授、ケースメソッド・ラボ代表)

-
- 日時:2015年8月1日(土)14:00~17:00
 - 場所:日吉キャンパス 来往舎1階 シンポジウムスペース
 - 対象:新たな学びに興味がある方なら、どなたでも(教職員・学生・社会人)
 - 定員:50名
 - 参加費:無料
 - 申込・問い合わせ:case-lab@sfc.keio.ac.jp

- 主催:SFC研究所ケースメソッド・ラボ
- 共催:教養研究センター

